



氏 名

金 井 重 彦

事務所 豊友法律事務所

住 所： 千代田区霞が関 3-3-1

尚友会館ビル 2 階

電 話： 03-3502-0882(代)

F A X： 03-3502-0880

主 な 経 歴 (登録年月日、弁護士会活動や主な公益活動等)

別紙のとおり

主 な 取 扱 い 分 野

- 1.公害 2.日照 3.クレサラ 4.労働(労・使) 5.行政 6.税務 7.借地借家
8.海事 ⑨.倒産 10.独禁法 11.涉外 ⑫.親族 ⑬.相続 ⑭.著作権
15.工業所有権 16.医療問題 17.民暴 18.建築紛争 19.消費者 20.交通事故
21.PL 22.コンピュータ 23.労災 ⑳.不動産取引 ㉑.金融取引 26.ドメステ
ィックバイオレンス 27.セクハラ ㉒.その他(チェーンストア契約等)

※該当する分野を選択してください。

あっせん・仲裁人のメッセージ

紛争解決の手段として、あっせん・仲裁が非常に適している場合があります。

実際そういう場面に仲裁人として出会ったこともあります。

是非利用を検討してみてください。

当職も、あっせん・仲裁人として、解決に寄与したいと思っております。

当会は、貴職から頂いた個人情報を用以下目的で利用及び第三者への提供をすることがあります。

1. 上記でいただいた情報をあっせん人・仲裁人候補者名簿に登載するほか、紛争解決センターでのあっせん手続・仲裁手続において、当事者があっせん人・仲裁人の選択を希望する場合、あっせん人・仲裁人候補者名簿の閲覧、交付等による提供を行います。
2. 委嘱した事件の書類等の送付・事務連絡のために利用し、当事者に提供することがあります。
3. 各種事務連絡、研修等ご案内を行うために利用することがあります。

【学 歴】

昭和51年 立教大学法学部法学科卒業
昭和57年 立教大学大学院法学研究科博士課程前期課程修了
(立教大学法学修士)
平成14年 成城大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位満了退学

【資格取得】

昭和56年 司法試験合格
自昭和57年 最高裁判所司法研究所入所(第36期修習生・東京修習)
至昭和59年 司法修習修了(辯護士)

【職 歴】

昭和59年4月4日 辯護士名登録(登録番号18965号)東京辯護士会入会
柳瀬法律事務所勤務辯護士(一般訴訟のほかキャラクター、
映画製作契約書など作成)、
昭和61年 大和証券入社 企業提携部に所属
昭和63年 金井法律事務所を開設(東京都港区元麻布)
平成4年 東京都港区六本木の現在地に事務所移転
辦理士登録(辦理士会 登録番号10217号)
平成8年 立教大学法学部非常勤講師(法実務実習 平成16年3月まで)
平成9年 静岡産業大学非常勤講師(知的財産法)(平成12年まで)
平成12年 立教大学大学院法学研究科非常勤講師(法実務演習)(平成16
年3月迄)
平成17年 琉球大学大学院法務研究科法務専攻(法科大学院)
非常勤講師(「知的財産法」「著作権とIT」)(平成19年1
1月まで)
平成19年 筑波大学法科大学院ビジネス科学研究科(法科大学院)非常勤
講師(著作権法)(平成19年11月迄)
平成21年 日本大学法学部教授(知的財産権法)

【東京辯護士会関係経歴】

平成5年 東京辯護士会図書館委員会副委員長(平成6年3月迄)
平成6年 東京辯護士会綱紀委員会委員(平成7年3月迄)
平成7年 東京辯護士会常議員(平成8年3月迄)
財団法人東京辯護士会育英財団評議委員
平成18年 東京辯護士会知的財産法部 部長(平成20年3月末日まで)

【日本辯護士会連合会関係経歴】

平成7年 日本辯護士連合会代議員 (平成8年3月迄)
日本辯護士連合会知的所有権委員会委員
(知的財産制度委員会に名称変更して現在に至る)

平成10・11年度
日本辯護士連合会知的所有権委員会副委員長

平成15年 日本辯護士連合会知的財産制度委員会委員
同著作権小委員会委員長 (平成18年3月まで)
日本辯護士会連合会 編集委員会委員

【官公署関係経歴】

裁判所関係

平成7年1月1日至平成11年 東京簡易裁判所司法委員
平成14年4月 (平成18年14月まで) 東京家庭裁判所員調停員
平成15年1月 (平成18年4月まで) 東京家裁参与員
平成17年 東京家事調停協会 理事
平成18年4月 (平成20年9月迄) 東京家庭裁判所家事調停官

行政関係

平成15年10月 (現在に至る) 人権擁護委員 (法務省)
平成16年7月 (平成18年2月まで) 文化庁文化審議会臨時委員 (著作権分科会)
平成19年11月 法務省・平成20年度司法試験 (新司法試験) 考査委員

【公益】

自平成10年3月26日至平成13年3月31日 工業所有権者仲裁センター調停・仲裁人候補者
自平成13年4月1日至平成16年3月31日 日本知的財産仲裁センター調停人・仲裁候補者
自平成16年4月1日～現在 日本知的財産仲裁センター調停人・仲裁候補者

【日本弁理士会関係経歴】

平成15年1月30日 日本弁理士会侵害訴訟代理研修講師 (不正競争防止法)
平成16年1月30日 日本弁理士会侵害訴訟代理研修講師 (不正競争防止法)
平成17年1月30日 日本弁理士会侵害訴訟代理研修講師 (不正競争防止法)

【賞罰】

なし

【著書・論文】

(論文)

- 「パブリシティ権」(平成13年度秋季弁護士研修講座所収 平成14年 商事法務研究会)
「デジタル化時代の写真の扱いは著作権と著作者人格権に注意CG時代の著作権法上の
問題点を考える」(日経CG平成6年4月号)
「コンピュータ・プログラムの法的保護」(月刊 情報処理試験3月号)
「贈与の研究」(「法学周辺」昭和51年 立教大学法学部)
「贈与の法人類学的研究」(昭和57年 修士論文・未公刊(公刊予定))
「株式買集めの類型化と商法証券取引法上の問題点」(手形研究420号)
「銀行業務とM&A」(連載 手形研究424号～455号)
「企業買収の実践的防衛策」(ビジネスガイド平成2年1月号)
「FP業務は銀行の収益源となりうるか」(週刊 金融財政事情 平成7年3月20日号)
「わが国における葬送儀礼の自由化の道すじ」(宗教法21号 平成15年 宗教法学会)

(判例評釈・判例研究)

- 「システムサイエンス事件抗告審決定」(「著作権法学」20号 平成5年著作権法学会)
「システムサイエンス事件」(「著作権判例百選第二版」平成6年 有斐閣)
「プログラムの複製」(「著作権判例百選第三版」平成13年 有斐閣)
「自己の氏名」(「商標・意匠・不正競争判例百選」(平成19年 有斐閣)

著書

- 「刑事訴訟法講義」(白露 平成8年)
「刑事訴訟法ノート・訴因」(日本大学司法研究所 平成 年)
「著作権の基礎知識 コンピュータ・プログラム」(ぎょうせい 平成4年)
「著作権の基礎知識 マルチメディア時代のコンピュータ・プログラム」
(ぎょうせい 平成10年)
「デジタル・コンテンツ著作権の基礎知識」(ぎょうせい 平成19年)

編書

- 「著作権法コンメンタール上下」
(小倉秀夫と共編著 東京布井出版 平成12年 平成14年刊)
「パブリシティ権 -判例と実務-」(編著 経済産業調査会 平成15年刊)
「Q&A インターネット商取引ハンドブック」
(根田正樹、小野克明らと共編著 弘文堂 平成14年刊)
「不正競争防止法コンメンタール」

(小倉秀夫、山口三恵子と共編著 レクシスネクシス・ジャパン 平成16年)
「知的財産法判例」

(矢野敏樹、秋山佳胤、高橋淳、細田はづき,と共編著 学陽書房 平成17年)
「意匠法コンメンタール」

(寒河江孝充・峰唯夫と共編著 レクシスネクシス・ジャパン 平成19年)
分担執筆

半田正夫=松田正行編 著作権法コンメンタール中 1巻2章第1節

〔講演等〕

平成14年 東京辯護士会 「パブリシティの権利」

平成19年 東京弁護士会 「デジタル化・ネットワーク化時代の著作権」

平成20年9月 東京弁護士会 司法修習生に対する専門修習 知的財産法

平成21年3月 東京弁護士会知的財産法部「最近の著作権法をめぐる法律問題」

【所属団体・所属団体】

東京辯護士会

日本辯護士連合会

日本弁理士会

【所属学会】

著作権法学会

日本工業所有権法学会

宗教法学会

日本私法学会

日米法学会

【所属研究会】

東京辯護士会 知的財産権法部

著作権法学 著作権判例研究会

知的財産権研究会